

現職看護師・離職中看護師向け教育活動の実証実験説明書

株式会社 Medi-LX

〒541-0051

大阪府大阪市中央区備後町 4 丁目 1 番 3 号

代表取締役 池辺 諒

1. はじめに

本実証実験に協力するかどうかは、ご自身の考えでお決めいただき、その決定について強制するものではありません。また、一度ご同意いただいた後で協力の取り消しを申し出られた際に、すでに実証実験期間が終了していた場合は、協力の取り下げはできませんのでご了承ください。わからないことや疑問に思うことがありましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

2. 実証実験実施の背景

臨床現場の看護師不足は慢性的に続いており、2025 年以降、高齢者の人口が急速に増加するだけでなく生産年齢人口の減少も加速していくため、医療職人材の必要性はさらに高まります。

しかし、厚労省の報告によると、(新型コロナウイルスのパンデミックに伴いニーズが高まった) 重症患者に対し自立して看護を実践できる看護師数は非常に少なく、急性期医療における看護師の質の向上が課題となっています。また、視点を変えると訪問看護は需要の増大が大きく、人材確保は社会的な課題となっています。しかし、訪問看護領域での就職支援につながる公的な教育活動は多くありません。

このような教育的課題の解決は社会からも求められているため、この度当社は現職及び離職中の看護師に対し、急性期医療・訪問看護に特化した教育の実施を広く計画しています。同教育活動の事業化に向けては、株式会社三菱 UFJ 銀行をパートナーに迎えて検証を進めており、その過程で、今般、実証実験^{※1}を行いたいと考えております。今回、我々が実施する教育活動が効果的なものとなるかの検証を行うにあたり、ぜひ実証実験[※]にご参加の上、実際にカリキュラム^{※2}を受講いただきたく存じます。

※1 株式会社三菱 UFJ 銀行は本実証実験の実施を EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社（以下、EY）に委託しています。実証実験で取得した情報等の管理は EY が実施し株式会社三菱 UFJ 銀行には帰属いたしません。

※2 カリキュラム作成にあたり、札幌市立大学看護学部看護学科 成人看護学領域(急性期) 教授・卯野木健先生、京都橘大学看護学部 准教授・野島敬祐先生に監修者としてご参画いただいております。

3. 本実証実験で何を見るか

本実証実験では、実証実験用に開発したコンピテンシーモデルの習熟度、カリキュラム受講前後のテスト結果、リフレクションシートの記入内容を拝見させていただきます。これらの学習結果は、同様に実証実験に参加する病院や施設のご担当者にも共有することをご了承ください。

4. 本実証実験参加によって、あなたに起こりうる不利益

今回開発したカリキュラムを改良していくための調査となるため、不利益はないと考えています。

5. 本実証実験参加によって、あなたにもたらされる利益

カリキュラム受講を通して看護師に必要とされる専門スキル・ヒューマンスキル等の向上が見込め、直接的に利益を享受できる可能性がございます。

6. 守っていただきたいこと

本実証実験に関するデータを使用することで、お困りのことや使用を中断したい等のご意向がございましたら速やかにご連絡ください。また、他施設への就職・転職を目的とした実証実験ではなく、本実証実験では雇用契約は一切発生しないことをご理解ご了承ください。

7. 個人情報の取り扱い

別途ご説明の利用規約、プライバシーステートメントをご用意しております。以下をご参照ください。

https://medi-lx.xyz/site/use_agreement/

https://medi-lx.xyz/site/privacy_policy/

8. 実証実験に関する情報の提供について

本実証実験実施中に、協力をいただく上で重要だと思われる情報が得られた場合には、速やかにお伝えいたします。また本実証実験計画や関連資料をご覧になりたい場合は開示可能な範囲で開示いたしますので、お問い合わせ下さい。

9. お問い合わせ

本実証実験に関して不明点がございましたら、以下にお問い合わせください。

＜株式会社 Medi-LX＞

代表取締役：池辺諒 電 話：070-8330-4371 Mail：contact@medi-lx.jp

書面にて大変失礼とは存じますが、本ご依頼の趣旨をお汲み取りいただき、是非ともご賛同いただきますようお願い申し上げます。